

29年度 入学式を挙

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人 1部10円
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



大学のシンボルマーク

晴れの新生たち

平成二十九年度の日本歯科大学の入学式は四月初旬、生命歯学部と新潟生命歯学部で挙行された。あわせて大学院の両研究科、東京短大、新潟短大の入学式が行われた。

生命歯学部

生命歯学部の部は、四月六日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。定刻午後一時三十分、高橋孝幸庶務部長より開式が宣せられ、学年主任の那須優則教授による生命歯学部入学生、編入学生の点呼ならびに研究科委員の五味治徳教授による大学院生命歯学研究科入学生の点呼が行われた。



学長訓辞に聞き入る新生たち (4月6日・東京)

中原泉学長、羽村章生

命歯学部長、八重垣健大学院生命歯学研究科長が訓辞を述べた(要旨二・四面)。

生命歯学部入学生を代表して

松本論君、大学院入学生を代表して永倉由加里さんが宣誓。ついで列席の法人役員、役職者が紹介され、午後二時二十分に閉式した。

新潟生命歯学部

新潟生命歯学部の部は、四月四日に新潟生命歯学部講堂において挙行された。定刻午後一時三十分、若槻紀寿事務部長より開式が宣せられ、学年主任の佐藤義英教授による入学生、編入学生点呼、ならびに研究科長の新海航一教授による大学院新潟生命歯学研究科入学生の

東京短期大学

東京短期大学の入学式は、四月六日に生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。定刻午前十時三十分、短大事務室の今井久枝事務長の司会により開式が宣せられ、

「歯科医師への道は容易ではない」と新生に訓辞を述べる中原泉学長(4月4日・新潟)

生学専攻・口腔リハビリテーション学専攻の点呼が行われた。

奈良陽一郎学長が訓辞を述べ(要旨三・四)、ついで来賓祝辞で羽村章生生命歯学部長は、東京短期大学は、前身の日本歯科大学附属歯科専門学校時代の頃から歯科衛生士、歯科技工士の国家試験とも一〇〇パーセントの合格率を誇っている。その伝統を受け継がれるよう頑張ってもらいたい。生命歯学部の学生たちとも、この機会に交流を深めていこう。というの、クラブ活動等と一緒に活動をする。そして十一月には富士見祭という文化祭があり、一緒に開催していく。すなわち常に歩調を合わせて、学んでいくことになる。ぜひとも有意義な学生生活を送っていただきたいと祝辞を述べた。

科大学の七十二回卒業と友香さんが宣誓。列席の来賓、役職者、担当教員が紹介され、十一時十分閉式した。

新潟短期大学

新潟短期大学の入学式は、四月四日午前十時三十分から新潟生命歯学部講堂で挙行された。須貝将紀短大事務部長が開式を宣し、歯科衛生学部の入学生と専攻科入学生の点呼が行われた。

佐野公人学長が訓辞を述べた(要旨三・四)。藤井一維新潟生命歯学部長は来賓祝辞で、「先ほど佐野学長から話があったように歯科衛生士の業務は大いに拡大され、社会の期待も大きくなっている。そのニーズも増加している。しかし単にその業務が拡大しているだけでは、それに求められる資質も高くなっているのが現状である。国家試験の問題も歯科医師国家

試験の問題と遜色のない難しいものになっているのも事実だ。先日発表された歯科衛生士国家試験の合格率は平成十八年以降最低の九十三・三パーセントだった。新潟短期大学は一〇〇パーセントであり、合格率を継続している理由は歯学部と同じキャンパスにある学校であることだろう。短期大学の教職員はもちろん、新潟生命歯学部の教員、それから歯科衛生士をはじめとする全スタッフが全力で皆さんをサポートできるようにその環境を整えている。どうかこれから同一キャンパスにあるというアドバンテージを存分に利用して、三年後の全員合格をめざして努力していただきたい」と祝辞を述べた。

おわりに新生を代表して神田渉さんが宣誓。列席の来賓、役職者、担当教員が紹介され、午前十時十分閉式した。



力強く宣誓する新生代表 (上・東京、下・新潟)



中原泉学長 入学式訓辞



中原泉学長：夢は実現可能な夢を持ち、そして手の届く目標をめざして一つ一つ努力しよう！

◆スタートは同じ

先月末に新入生諸君と入れ替わりに本学を卒業した先輩諸君は、日本歯科大学の第一〇六回卒業生のあたる。諸君は六年のうちに、日本歯科大学第一二回卒業生として卒業していくことになる。その時には諸君は、学士(歯学)いわゆる歯学士の学位を取得する。学士(歯学)というのは歯学部卒業者であつて、この学士(歯学)でなければ歯科医師国家試験を受験することはできない。つまり歯科大学は、歯科医師を養成することに特化した大学である。だから本学に入学した時点で諸君の目的と目標は定まっている。諸君の前には、歯科医師になるというそれ以外に選択肢はない。この数年間で諸君にとって最も大切だったのは、偏差値だったろう。諸君は少しでも偏差値の高い大学をめざして、一

◆新しいハードル

そのスタートにあたって、私たちはある一つのことを諸君に見ている。それは入学後に歯科医学の学問に魅力を感じない学生、本学になじめない学生がいるのではないかと、うしろ向きな心配がわかない人は、できるだけ早く、一年生あるいは二年生までの間に、自分の本当に進みたい道に道変更することをお奨めする。そ

◆歯科医師への道

さて新入生諸君、歯学部に入學したからベルトコンペヤーに乗ったよう

ういう学生さんは自分自身でその見極めをつけることが一番大切であつて、それは、その学生本人、ご父母、また私も、この三者にとってベターなことなのだ。進路変更する学生が何十人いても、本学としては本学で学びたい人だけが残ってくればよいと思つてゐる。ここでご父母の方々に聞いていただきたい。あくまで一般的な見方だが、最近の若者の傾向として次のような特色があげられる。

- ①大切に育てられていて、生懸命勉強してきたと思ふ。けれど偏差値は高校時代という一時期の知識レベルを数値化した評価であり、諸君の人生における通過点の一つにすぎない。だから本学に入學したら偏差値のことは忘れてほしい。
- ②今がよければよい。
- ③決して無理しない。
- ④適当なところで満足する。
- ⑤今がよければよい。
- ⑥外国にあまり関心がない。
- ⑦自分だけに閉じこもりがちだ。
- ⑧何事にも好奇心が薄い。
- ⑨人付き合いが下手である。
- ⑩人とのコミュニケーションが億劫である。

◆一歩づつ着実に

諸君は中学高校時代、夢を持って、目標を高く持てと励まされてきたと思ふ。けれども「夢を持って夢を持ったが夢だった」という皮肉な柳川も流る。近頃スポーツクライミングのボルダリングが流

行っている。あの絶壁をホルダー扱いに這い登つていく競技は、急ぎすぎたことで、歯科医師のレポートをゲットしたと喜ぶのは錯覚なのだ。歯科医師国家試験は大変難しい試験である。総務省の調べでは大学生が学業に費やす時間は大学での講義を含めて一日平均三・五時間ほど、小学六年生より短いそう。ところが本学では学内は一日中閉鎖してゐる。どこに居るのか思ふほど、学生の姿が見えない。さぼる学生もいない。しかし、昼休みになるとどつと廊下にあふれ、一時間たつとまた教室の中に全員が消えてしまふ。というのは月曜日から金曜日まで、朝の九時から夕方の五時過ぎまで時間割がびつりと埋まっているからだ。九時から五時まで一日七時間、これだけで総務省の平均の二倍になる。これに自習時間が加わつて高学年になれば一日十時間、六年生になれば国家試験を控えて十数時間、あるいはそれ以上、これが普通だ。私は歯学部学生は、大学生の中で最も勉強する学生だと思つてゐる。

歯学部部長 訓辞

生命歯学部部長 羽村 章



皆さんは歯科医師になるために本学に入學した。歯科学生としての心構えを、今この瞬間から

HAMAURA FESTIVAL 2017

第46回 浜浦祭

Next Dream with U-NDU

模範店 各部展示 学生による無料歯科相談 スタンプラリー イベント オープンキャンパス

6.10(sat) <<11(sun)>>

THE NIPPON DENTAL UNIVERSITY

持たなければならぬ。まず医療人として必要な態度を身につけるように努力していただきたい。一年生には病院医療概論という授業があり、附属病院と口腔リハビリテーション多摩クリニックスでの見学実習がある。二年生になると、解剖学実習がある。将来よき歯科医師となることを期待して献体してください。方々や、ご家族に対して

恥ずかしくない振る舞い、身だしなみをしてもらいたい。五年生で行う診療参加型臨床実習では、附属病院で診療に参加する。口腔リハビリテーション多摩クリニックスでは、訪問歯科診療に参加する。もちろん、診療参加型実習に必要な知識や技術も習得しなくてはならない。歯科医師の資格を持たない皆さんが、患者さんの治療を行うためには必要不可欠な知識・技術・態度が備わっていることが

新潟生命歯学部部長 藤井 一維



世界の社会学の専門家が国際プロジェクトとして行っている世界価値観調査というものがある。この調査の分析では人生

の成功を決めるのは、勤勉よりも運やコネが大事と考えている日本人は、一九九〇年に二十五パーセントだったのが、二〇一五年には四十一パーセントまで増加した。特に十五歳から二十九歳の若者では四十四・六パーセント、年齢が低いほど人生の成功を決めるのは運やコネと考え、勤勉を軽視する傾向にあるという。この原因には競争を嫌う、競争を避けたい、そ

取得できるか否かは諸君の努力、すなわち勤勉以外にはない。各学年の定期試験、まとめの総合試験、四年次に全国で行われる共用試験、そして卒業時の学士試験は、極めて客観的に行われる。仮にそれらの試験の合格に運があるとしたならば、その運は努力した者にだけ与えられるものなのだ。本学は今年で創立一一一周年を迎える。ここに至るまで、先輩たちはわが国の歯科医療に大きく貢献してきた。また歯科医師の業務範囲も大きく変化してその対応に日々努力している。しかしこの変化に対応できる知識や技術の量には減少はない、増加のみである。すなわち歯科医師免許というものは変化に対応すべく生涯学習し続ける努力、勤勉が必要資格なのである。したがって皆さんは、まず努力し続ける必要がある。この学位を

短期大学学長 訓辞

東京短期大学学長
奈良陽一郎



わらず診療室に行つて、患者さんになった経験がある、これが大切なのだ。

医療というのは、医療を施す側にあるのではない。患者さんは、歯の病気を、体の病気を、はたして、辛い、苦しい、悲しいという心の痛みをもつて診療室にやってくる。そういう患者さんの気持ちを理解して、「医療を施してやる」というような上からの視線ではなく、お互いに寄り添い近づき助け合うこと、そして私たちができる技術を生かして、患者さん、国民、世界人に対して医療を施していきたいという志をもつて取り

組むことが大切だと思ふ。亡くなった私の父も、日本歯科大学を卒業し、歯科医院を開業していた。その頃は未だ患者さんがあふれんばかりで、多くの場合、歯を抜いたり、抜いたところに義歯を入れる、というような治療だった。今は歯科医療・歯科医学も進歩し、なるべく歯を傷つけず、抜かずに、生活の質QOLを高める治療ができるようになってきた。

また昔は診療室に歩いて来てくださる患者さんに対して、歯科衛生士は歯科医師、歯科技工士と手を取り合いながら治療してきた。でも日本の今は、超高齢社会を迎えている。今後は医療人が患者さんの家を訪問して質の高い医療を提供して

くことが求められている。そういう意味において歯科衛生士の役割は今までと全然違う。国民、患者さん、家族も非常に期待をもつていい治療を受けたいと願っている。

歯科技工士の皆さんは様々な材料を用いて患者さんの口の中に入れて機能させるものを作っていく。しかし作製した技工物、修復物等の使用は生きた生身の人間であるという気持ちを踏まえて、学んでいってほしい。特に最近では歯科医療、医科の場合もデジタル化が非常に進んでいる。見た目、かたちがよければいいのではない。口の中に入ったときに患者さんが使いやすい、よく噛める、上手に喋れる、笑ったときに、こやかに

心が安らぐような機能美、そうしたものも求められる時代になっている。専攻科に入学された皆さん、直近の世情を鑑みると、寝たきりの患者さん、在宅で看取りのケアをなさっているご家族、それらを含めた口腔リハビリテーションが厚生労働省をはじめ、喫緊の事案として浮かびあがっている。この様な時代の求めに応じたものが衛生分野の専攻科の皆さん方には求められている。そして技工分野の専攻生の皆さんには、デジタルメ

ディシン、あるいはデジタルデンティストリー、斬新で非常に数学的な要素を取り組んだ歯科技工技術、こういうもの基礎、そして将来に向けた技術の改革が求め

られているだろう。皆さん方とは、今日から一緒に歩んでいくが、初めはどういう学問なのか、どういう技術なのか、わからないだろう。わからないことがあったら、遠慮なく教職員に問いかけをしてほしい。教職員は丸と丸で全身全霊を傾けて支える。また専攻科の諸君には、学位授与機構から学位が頂戴できるレベルまで、技術、そして態度、習慣の部分まで取り組んでいく所存なので、ぜひご父兄の皆さま方にもお力添えを賜りたい。

（4月4日）
（4月6日）

今日入学された歯科衛生学科、歯科技工学科、専攻科の人たちの中で、生まれてから今までに歯科あるいは医科の病院、診療室に一回も行ったことがないという人が居たら、元氣よく手を高く挙げていただきたい。一人もいない。何故こんなことを尋ねるか、それは、皆さんが、医科歯科に関

し四年後には短大に昇格、そして今年の三月で三十二回目の卒業生を送り出し、総勢一六〇〇名の歯科衛生士を輩出している。当短期大学の特長は新潟生命歯学部のカンパス内で同じような施設、体育館、図書館等を共有することができることとであり、新潟短期大学の専属の教授陣、教育スタッフばかりではなく、生命歯学部の教育スタッフも高度な教育指導するという点である。

そして創立から本年まで歯科衛生士国家試験合格率百パーセントを維持している。このようなことで皆さんは大学生活を非常に有意義な形で送る

ことができる。また短期大学基準協会による第三者評価基準、認定もいただいている。

皆さんは歯科衛生士をめざして本学に入学されたわけだが、歯科衛生士の業務や必要な知識や技術は年々変わってきた。これは社会のニーズに対応しなくてはならないという点なのだが、人口構造の変化、それから有病者の増加等の変化で歯科界に携わる人間にとってもいろいろな変化が必要になってきている。

たとえば糖尿病患者は、実際に予備軍も含めて一千万人の患者さんがいると言われているし、高血圧や心臓病、脳血管

障害など寝たきりになるような疾患も非常に増えている。われわれがそれに対応しなくてはならなくなっているわけだ。そのような状況下で歯科衛生士に求められ、資質は単に歯科医師のパートナーとしてだけではなく、疾病に対する理解と対応、時には自身で判断と実践ができるような能力が必要とされている。

それは介護保険の導入によつて歯科衛生士が訪問歯科診療、訪問ケアに対応するだけではなく、介護や看護の担い手にもなる必然性からである。われわれ短大教職員は、そのような歯科衛生士を

育成すべく、全力でみなさんをサポートする。みなさんも三年後の三月に笑つてその日を迎えることができるよう決意を新たに学生生活を送っていただきたい。

（4月6日）

新潟短期大学学長
佐野 公人



日本歯科大学は新潟、東京と二つの歯学部、二つの大学院、三つの附属病院、そして二つの短期大学と医の博物館を擁し、学生総数二千名、職員千名、卒業生の総数が二万人を超える世界最大の歯科大学である。

新潟短期大学はそれを母体とし、一九八三年に附属学校として開設

し、四年後には短大に昇格、そして今年の三月で三十二回目の卒業生を送り出し、総勢一六〇〇名の歯科衛生士を輩出している。当短期大学の特長は新潟生命歯学部のカンパス内で同じような施設、体育館、図書館等を共有することができることとであり、新潟短期大学の専属の教授陣、教育スタッフばかりではなく、生命歯学部の教育スタッフも高度な教育指導するという点である。

そして創立から本年まで歯科衛生士国家試験合格率百パーセントを維持している。このようなことで皆さんは大学生活を非常に有意義な形で送る

ことができる。また短期大学基準協会による第三者評価基準、認定もいただいている。

皆さんは歯科衛生士をめざして本学に入学されたわけだが、歯科衛生士の業務や必要な知識や技術は年々変わってきた。これは社会のニーズに対応しなくてはならないという点なのだが、人口構造の変化、それから有病者の増加等の変化で歯科界に携わる人間にとってもいろいろな変化が必要になってきている。

たとえば糖尿病患者は、実際に予備軍も含めて一千万人の患者さんがいると言われているし、高血圧や心臓病、脳血管

障害など寝たきりになるような疾患も非常に増えている。われわれがそれに対応しなくてはならなくなっているわけだ。そのような状況下で歯科衛生士に求められ、資質は単に歯科医師のパートナーとしてだけではなく、疾病に対する理解と対応、時には自身で判断と実践ができるような能力が必要とされている。

それは介護保険の導入によつて歯科衛生士が訪問歯科診療、訪問ケアに対応するだけではなく、介護や看護の担い手にもなる必然性からである。われわれ短大教職員は、そのような歯科衛生士を

育成すべく、全力でみなさんをサポートする。みなさんも三年後の三月に笑つてその日を迎えることができるよう決意を新たに学生生活を送っていただきたい。



The Nippon Dental University College at Tokyo

学年主任

- 平成二十九年 日本歯科大学生命歯学部、新潟生命歯学部、東京短期大学、新潟短期大学の学年主任は次の通り(カッコ内数字は学年、下段は副主任)
- (生命歯学部)
 - (1) 那須優則 岩原香織
 - (2) 五味治徳
 - (3) 高橋幸裕
 - (4) 筒井健夫
 - (5) 柳井智恵
 - (6) 添野雄一
- (新潟生命歯学部)
 - (1) 佐藤義英
 - (2) 田中彰
 - (3) 岡田康男
 - (4) 遠藤敏哉
 - (5) 小出 馨
 - (6) 佐藤 聡
- (東京短期大学)
 - (1) 竹井利香
 - (2) 小泉順一
 - (3) 野村正子
 - (4) 関口洋子
 - (5) 野村正子
 - (6) 野村正子
- (東京短期大学)
 - (1) 竹井利香
 - (2) 小泉順一
 - (3) 野村正子
 - (4) 関口洋子
 - (5) 野村正子
 - (6) 野村正子

The Nippon Dental University College at Niigata

中村直樹 土田智子

大学院研究科長 訓辞

生命歯学研究科長

八重垣 健



本学生命歯学研究科のレベルは、国立大学や旧帝大に勝るとも劣らないということを皆さんはご存じだろうか。その際の評価の基準の第一は博士論文を英語国際論文で書いた数、あるいは割合である。

次に他の科学者が論文

新潟生命歯学研究科長
新海 航一



大学院生として第一歩が今日から始まるが、様々な思いが交錯していると思う。

私が大学を卒業した頃の頃、インプラントやCAD/CAMシステムは臨床ではほとんど用いられていなかった。しかし約三十年後の今日では頻りに用いられている。これらの新しい技術は数多くの基礎研究が重ねられ、しっかりとエビデンス

を書く時、該当学術誌の論文を引用した頻度であるインパクトファクターが第二の基準となる。インパクトファクター(IF)は、国際情報企業のトムソン・ロイターが選んだ学術誌のみに与えられた学術誌のみに与えられ、IFが高い学術誌に発表した学位論文は特に高く評価される。

のときの入学式で、当時の中原實学長は大学には教える者と教わる者しかないという教訓を、教わる者の謙虚さを教えてくださった。しかしこの謙虚さが学部学生も含めて、多くの学生に足りない。一方これは大学院で研究するには必須の資質である。さもないと、百パーセント自信を持てる立派な博士論文にはならない。

歯の細胞バンク第2期認定医講習会のお知らせ

歯の細胞バンク第2期講習会を、下記4回の日程で行います。全て同じ内容なので、いずれか1回を受講してください。

- 【確認事項】
- 第2期認定医講習会を受講する先生は、インターネットまたはFAXでお申し込みください。
 - 第2期認定講習会は、他大学の先生も認定医になることができます。
- ※他大学の先生の認定医取得には、歯の細胞バンクの第1期認定医または第2期認定医(見込み)の「推薦書」の提出が必要です。
- ※本学卒業生で校友会未入会の先生は、校友会に入会してください(推薦書は必要ありません)。

2017年			
第9回	7月	16日(日)	
第10回	7月	30日(日)	
第11回	11月	19日(日)	
第12回	12月	3日(日)	




時間：13:00~15:00
会場：生命歯学部本館3階131講堂
費用：無料

第2期認定医講習会申込みフォーム

以下のURLからインターネット経由でお申し込みください。

<https://goo.gl/forms/LBa1j7lu9qlll2Fj2>

※FAXでお申し込みを希望の場合は、03-3261-8626(歯の細胞バンク事務局)までお電話ください。



を専攻し、より深い知識や治療技術を学ぶために大学院に進学した人もいるだろう。しかし博士課程を修了し、学位を取得するにはしっかりと学術論文の作成が必須である。科学研究はグローバル化し、国際誌に掲載されなければ、研究成果を公表したことはならない時代になった。

付国際誌に自分の論文を掲載するにはどうしたらよいか。それにはまず質の高い研究を完成させる必要がある。研究テーマの決定が重要で、指導教授がまず示唆を与えてくれると思うが、独創性がある研究テーマが臨床に反映されるテーマを模索していただきたい。

研究テーマに関連した論文を数多く検索しながら、研究の方向性、すなわち研究目的を明確にすることが大切である。

次に予備実験を通して再現性のある実験方法を確立してもらいたい。実験方法に不備があった場合には、仮にデータが得られていてもそれに信頼

性がないため水泡と化してしまう。研究期間に限られていて、早いうちに必要なこと、ノーベル賞を受賞した下村脩博士は、人は困難に突き進むべきだと、自分が興味を持った課題を見つけたら、それをやり抜くよう

努力してほしいと、若手研究者にアドバイスしている。諸君はこれから大切な人生のページを使って研究に取り組みようとしてい

大学院生活は、いくつもの苦難が待ち受けていると思いが、それらに屈せず最後までやり遂げていただきたい。

歯科保存学 小柳圭史
歯科補綴学II 三枝慶祐
口腔外科学 宮下葉月
歯科矯正学 藤島 伸
歯科麻酔学 山口友輔
深見隼人

歯周病学 立浪秀恭
接着歯科学 和田祐季
臨床口腔機能学 河本 芽
宮下大志

歯科保存学 岩崎 信一
歯科補綴学II 又賀 泉
口腔外科学 傘 孝之
歯科矯正学 三井 孝之
歯科麻酔学 深見隼人

歯科保存学 岩崎 信一
歯科補綴学II 又賀 泉
口腔外科学 傘 孝之
歯科矯正学 三井 孝之
歯科麻酔学 深見隼人

“困った患者さん”が来院したら? 院長・スタッフのための必携書!

さあ、どうしよう? 対応に困る患者さんたち

スタッフと共有する、振り回されないためのポイント

編著 岡田智雄 (日本歯科大学附属病院 心療歯科診療センター 教授)

著 石井隆資・大津光寛・小川智久
加藤雄一・荻部洋行・小池未来
藤田(石川) 結子

好評発売中!

対応に困る患者さんたち

スタッフと共有する、振り回されないためのポイント

岡田智雄

自分の感情を表面に押し込めること、なぜそう思うのか理由を探ること、決まりごとをやって行動に移すこと

HYORON

A5判・120頁
定価(本体2,800円+税)

千101-0048 東京都千代田区神田町2-8-3 第25中央ビル
Tel.03-3252-9261~4 Fax.03-3254-3876

株式会社 ヒョーロン/パブリッシャーズ

「新潟生命歯学研究科」
機能性咬合治療学
大滝梨菜
鈴木翔平
Kanda Leelanarithivat
島村直宏
硬組織機能治療学
清水公太
咬合形態機能矯正学
佐藤史明
稲富弘毅
高橋和揮
加羽澤信以
佐藤大介
顎口腔全身関連治療学
久代洋貴
城井友幸
全身関連臨床検査学
河野 茜

辞令

又賀 泉
傘 孝之
岩崎 信一

名譽教授の称号を授与する
平成二十九年四月一日
本学